

富山 LRT・北陸新幹線建設現場見学報告書

芝浦工業大学 POT Lab.

1. 日時

2008年11月4日(月)

2. 見学者

岩倉先生, 学生6名(○上松, ○武井, ○谷口, ○喜代田, ○増淵, 他学生1名)

※○…POTLab.メンバー

3. 行程

| | | | | | | | |
|-----------------------------------|------------|-------------------------|---------------|----------------------------------|------------|---|------------|
| 8:40 ホテル | <u>機構車</u> | 9:14 岩瀬浜 | <u>ライトレール</u> | 9:39 富山駅北 | <u>徒歩</u> | 10:00~11:00 オールドホール (市によるLRT関連整備計画説明) | <u>機構車</u> |
| 11:20~11:40 常願寺川橋りょう (長靴、傘) | <u>機構車</u> | 12:10~13:00 昼食(富山市内) | <u>機構車</u> | 13:20~14:20 第2魚津トンネル (着替え) | <u>機構車</u> | 14:40 魚津駅 | |

4. 見学内容

【岩瀬浜】

岩瀬浜駅にて LRT に乗車した。この駅では LRT 路線と LRT のシステムが完成する前までにあったバス路線をつなぐフィーダーバスとの接続を行っていた。乗客がスムーズに乗り換えを行っていたのが印象的であった。入口のステップには段差がなく、揺れも少ないなど乗り心地も快適で、高齢者や障害者にもやさしい乗り物であった。

車両や電停、広告などに統一感があるデザインであった。また清掃員の方が電停に停車するたびに電停のゴミを回収するなど清潔感を保つための工夫も感じた。



岩瀬浜駅にて集合写真



バスとの乗り換えが便利に接続

【LRT 走行中】



オフピーク時にも関わらず、混み合う列車内



駅に隣接する駐輪場

【富山駅北】

オーバードホールにて、富山 LRT の事業内容説明。

LRT に関するビデオでは、供用を開始するまでの経緯と今後の展開について拝見した。「時代の変遷で土地の利用状況や生活スタイルも変化したことをふまえ、さらに今後の超高齢化社会や中心市街地の活性化に向けたうえでの取り組みであったこと」や、「パークアンドライドシステムの導入やフィーダーバスの運転と、LRT の開発だけではない総合的な施策のもとにつくられたこと」が分かった。



富山 LRT に関する
インフォメーションセンター



富山ライトレール株式会社の方による
事業概要・今後の展望などの説明



富山駅北

【常願寺川橋梁】

常願寺川に架かる橋梁では、ディビダーク工法と呼ばれる橋脚部を中心としてやじろべえの要領で両側の重量を等しくさせていく工法を用いている。片持ち梁の要領で施工が行われており、部材にはプレキャスト形式の中空の箱桁が採用されている。橋梁にも登ったが、立山連峰の素晴らしい景色を拝むことは残念ながら見学時にはできなかった。



ディビダーク工法による橋梁建設



概要・進捗状況・工法の説明

【第2 魚津トンネル】

トンネルは新幹線が走るための入口のほかに、工事用の入口があり、今回はそこから出口まで車で案内していただいた。

トンネルはすでに貫通しており、半分は完成しており、もう半分は吹き付けコンクリートで固められており、地面も掘削した地肌のままでした。最初は鉄骨と吹き付けコンクリートでトンネルを補強し、その後、実際に新幹線が走れるようにきれいにコンクリートで覆っていく。

緻密な測量でトンネルの掘削ルートの実誤差はほとんどない。このトンネルも3kmほどあるが、誤差も1mm出るか程度のもの。

ここのトンネルは土被りが浅く、掘っている間に頭上の土が崩れる心配がされていたが、一度も崩れることなく作業できた。こういうケースは大抵の場合崩れてしまうものなのだが、一度も崩れなかったため、作業も早く済み運がよかったとおっしゃっていた。



概要・進捗状況・工法の説明



トンネル内部



トンネル内部



トンネル外部で集合写真